

化学生物環境学科

環境科学コース

新入生ガイダンス part 1

1. 環境科学コース長挨拶
2. 学生生活全般について
3. 教務関係

配布資料

- 「諸手続き及び留意事項」の最初に配布書類一覧があるのでそろっているか確認する。
- 「新型コロナウイルス感染症対策に伴う日程変更について」はさらに日程変更あり

- 以下は part 2 で説明

学生控室内ロッカー使用上の注意

各分野の履修推奨科目

環境科学コース教員等担当授業の連絡事項・課題

2020年度前期 化学コースの事前学習・課題(1週分)

生物科学コース教員担当科目に関する連絡事項一覧

生物科学コース教員担当科目の事前学習・課題一覧

2. 学生生活全般について

Campus Life には、
大学生活に必要な様々な情報が載っています。

例： 各種事務手続き、学則・規程、各種相談窓口、校舎案内図
生活・就職支援制度、課外活動、防災・安全

よく目を通しておいてください。

卒業まで使います。大切に保管してください。

コース長, 教務

- 環境科学コース長: 高須夫悟
- 環境科学コース教務: 高橋智
- 学年担任等 part 2 で紹介

学生への連絡方法 1. 掲示板 (Campus Life p.20)

キャンパスに来たら、まず掲示板を見る習慣を！

※掲示板には全学・学部用、学科用、コース用の3種類があります。

- ・ 全学生向け掲示板： 学術情報センター横
教養科目、教職科目、全学・学部レベルの事務連絡など
- ・ 化学生物環境学科共通掲示板： B棟玄関正面
- ・ 環境科学コース掲示板： G棟3階廊下
- ・ 化学コース掲示板： C棟3階廊下
- ・ 生物科学コース掲示板 B棟玄関左右

学生への連絡方法

2. 災害時安否確認システム（さくら連絡網）

(Campus Life p.18)

さくら連絡網に必ず登録してください。

G棟計算機システムのメール

- G棟の計算機システム (学術情報センターとは別) のメールで, 環境科学コース関係の連絡をすることもある.
- 定期的にG401, 301, 102 でチェックあるいは自分の他のメールアドレスに転送
- 詳しいことは環境科学基礎プログラミング演習で

2. 学生生活全般について

学生生活の悩み・相談 (Campus Life p. 95～)

- ・ 教育・単位履修上その他の相談：
コース長、学年担任、各コース教務担当教員まで。
- ・ 心身の健康相談、学内での怪我や急病：
保健管理センターで対応します。
(Campus Life p. 96)
- ・ 学業・進路の不安、心身の不調、対人関係 その他：
学生相談室 (大学会館3階) が利用できます。
(Campus Life p. 106)
- ・ セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント：
ハラスメント相談員まで。
(Campus Life p. 108)

一人で悩まず相談してください。

保険について (Campus Life p. 110)

- 学生教育研究災害傷害保険（学研災）：
学生の教育研究活動中（学校管理下）における
事故による本人の傷害に対する補償。
- 学研災付帯賠償責任保険（学研賠）：
学生の教育研究活動中（学校管理下）における
法律上の損害賠償に対する補償。

（他人に怪我をさせたり、他人の財物を損壊したりした場合）

両方併せて4年間で¥4,660。

※学内外の実習・実験等への参加にはこの保険への加入が条件。

全員加入すること

トラブルから身を守る (Campus Life p. 44～)

- ・ 悪質商法・詐欺：
資格商法、キャッチセールス、架空請求、闇金融、ネットトラブル etc.
- ・ 正体不明団体（カルト集団）などの勧誘：
カルトとは、**熱狂的な宗教集団**のこと。
親元を離れたばかりの**大学新生は勧誘のターゲット**になりやすい。
文化・スポーツ団体を装い、**正体を隠して誘い込むのが常套手段。**
もしトラブルに巻き込まれたら
教員、学生生活課、学生相談室などに相談を。
- ・ 夜間の独り歩き、施錠の不徹底などにも注意が必要。

3. 教務関係 (1) 全般的な注意

高校までと大学との違い

高校までの授業では、時間割はほぼ決められていましたが。。。。

大学では、時間割は自分で作ります。

ガイダンス（学部・学科・コース）をよく聞き、

どのような科目が用意されているのか

卒業するためにはどのような科目の履修が必要か

よく理解して履修計画を立ててください。

・履修登録： 4月6日（月）～4月16日（木）の間に

web上で履修登録の手続きをしてください。

※ 詳しくは全学教育ガイド『履修登録』の項(p. 6)を参照。

※ 『履修登録のお知らせ』、『ログインのための個別ID/パスワード』が配布資料の中に入っています。確認してください。

※ 科目によっては、事前に予備登録や受講人数調整があります。

ガイダンスや掲示等による連絡に注意してください。

3. 教務関係 (1) 基礎知識：学年歴と時間割

学年歴 (Campus Life p. 10)

前期、後期の二学期制です。

前期： 5月 7日～8月 28日、補講期間8月31日～9月4日(、4月13日～5月1日)

変更の詳細は part 2 で

後期： 10月 1日～2月9日、補講期間12月25～28日、2月10日～12日

※注意：別の曜日に開講される授業を行う日があります。

(別曜日開講科目実施日)

授業時間 (Campus Life p. 23)

90分ごとに区切り、これを2時間の学修とみなします。

時限	コマ	開始時刻	終了時刻
1 ・ 2 限	1コマ	09:00	10:30
3 ・ 4 限	2コマ	10:40	12:10
5 ・ 6 限	3コマ	13:00	14:30
7 ・ 8 限	4コマ	14:40	16:10
9 ・ 10限	5コマ	16:20	17:50

3. 教務関係 (1) 基礎知識： どのような科目があるのか？

教育課程（カリキュラム）（全学教育ガイド p. 1）

- ・ 開講科目は大きく3系統に分けられます（3本柱）。

1. 教養教育科目：基礎科目群、教養科目群
2. 専門教育科目：各学部専門科目
3. キャリア教育科目：キャリアプラン科目群、教職科目群、資格関連科目群

卒業資格を得ることに関係します。

- ・ 修得条件に基づく分類

卒業資格を得ることには関係しません。

1. 必修科目： 必ず修得しなければならない科目
2. 選択必修科目： 指定された科目群の中から、
決められた数を修得しなければならない科目
3. 選択科目： 自由に選んで修得できる科目

化学生物環境学科では、「各コースで標準的に履修範囲として想定している科目」という意味でも使います。

- ・ 授業形態に基づく分類

講義（教員による説明）、演習（講義＋学生の討議・発表）、
実験・実習（知識を基に実践して学習）、実技、複合（併用）

3. 教務関係 (1) 基礎知識： 単位 (全学教育ガイド p. 2)

単位：

ある科目について「合格」の判定を得ることで獲得できる「ポイント」のようなもの。その科目を修得するために必要な時間（**授業時間 + 自主学習時間**）に基づいて設定。

※ 必要な時間の算出方法は、授業の形態によって異なります。

授業形態	教室での授業の時間	自主学習の時間
講義	15時間	30時間
演習	15～30時間	30～15時間
実験・実習	30～45時間	15～0時間
複合	授業形態の組み合わせに応じた時間	

※ 各科目の単位数は、^{1単位当たりに必要な学習時間}「全学教育ガイド」、「専門教育ガイド」の開講科目一覧や、web上で公開されている「開講科目概要」、「シラバス」などで確認できます。

3. 教務関係 (2) 卒業するためには？

卒業要件 (Campus Life p. 191)

本学を卒業するためには、**124単位**以上の修得が必要です。
ただし、以下の単位を含める必要があります。

教養教育科目 **30単位**以上

基礎科目群から**12単位**以上

(外国語科目**8単位**、保健体育科目**2単位**を含む)

教養科目群から**18単位**以上

※平成27年度から少人数制のゼミ (パサージュ) が始まりました。受講推奨。

専門教育科目 **75単位**以上

詳細は part2 で説明

「キャリア教育科目」 (教職科目など) の修得単位は、卒業要件**124単位**には算入されませんので、注意してください。

※ 例外：「現代社会と職業」は、教養教育科目の教養科目群の単位とみなされます。

教養教育科目の概要 (全学教育ガイドp.55、Campus Life p.194 理学部規程別表I)

・基礎科目群 (全学教育ガイドp. 59)

- 外国語科目： 英語、独語、仏語 etc. クラス指定あり。P. 74
- 保健体育科目： 健康運動学実習I、IIが必修。クラス指定あり。P. 85
- 日本語科目： 外国人留学生用。P. 84
- 情報処理科目： 情報処理入門Iはコンピュータ操作の基礎を学ぶ。P. 88
受講を推奨 (環境コース以外)。クラス指定あり。

※基礎科目群は、入学後の早い時期 (1・2年次) に必要な科目を選択履修してください。

※クラス分けについては全学教育ガイドをよく読み、掲示にも注意してください。

・教養科目群 (全学教育ガイドp. 91)

[大学生活入門・パサージュ]、[人間と文化]、[生活と社会]、[人間と自然]、

[グローバル教育科目]、[教養コア科目] の5分野。

- ※ 全在学期間に亘り、各分野をまんべんなく受講してください。パサージュは1回生で受講してください。
- ※ 科目名の後に (展) がつくのは展開科目 (少人数クラス) です。
- ※ [大学生活入門・パサージュ] に含まれる

パサージュについて

- 大学の学問に触れ、高校までの授業との違いを体験
- 4/4（土）配付のパサージュシラバス集5～7頁. 興味ある人は各自で履修申込。
- 変更 Campusmateの各種資料一覧内のガイダンス資料. 4/7（火）以降に掲載予定.

地域志向科目

- 「地域志向科目」から1科目以上が卒業要件
- 全学教育ガイド P104, キャンパスライフ P.216
- 科目により「毎年開講」, 「隔年開講」
- 今年度開講は全学教育ガイド P.104-105
- 専門科目は人数制限, 配当学年に注意

高年次教養科目履修についての注意

卒業要件に、

「教養教育科目」の「教養科目群」の中に、「高年次（3，4年）に履修することを別に指定する教養科目1単位の修得を含む」ことが含まれます。

高年次に履修するこの教養科目は、履修登録は3年生になってからのこととなりますが、現在の教養科目のうち、以下の科目は、みなさんが3年生になったときに高年次教養科目に設定される予定となっています。従って、1，2年生時に以下の科目を履修した場合、3，4年の「高年次教養科目」としては取れなくなりますので、注意してください。

科目名：「科学の言語としての数学」

「社会に出るまでに知っておきたい科学」

「これからの社会で生きるために」

なお、みなさんが3，4年になったときに、新たに理学部教員が担当する

「化学系の科目を1つ（名称未定）」

を高年次教養科目の一つとして開講する「予定」です。その他にも他学部教員が担当する

高年次教養の新設科目が開講される予定です。

専門教育科目の概要

(専門教育ガイドp.186、 Campus Life p.203 理学部規程別表II-1, p.210 別表II-3 参照)

・ 理学部共通科目 (Campus Life p. 203)

・ **サイエンス・オープンラボ I/II (E)**：地域貢献と密接にリンクした学生能動参加型授業。

I は 2 回生以上 II は 3 回生以上対象。

※ 卒業までに1科目は履修することが勧められている「地域志向科目」の一つです。

・ **グローバル理系女性育成国際サマーキャンプ**： 海外からの受け入れ学生と共に、ワークショップ、工場・研究所見学、フィールドワークなどの活動を行う。

※今年度は中止

・ 学科共通科目 (Campus Life p.210)

複数のコースに関係する、共通性の高い科目。

[全般]、[数物系]、[化学系]、[生物科学系]、[環境科学系] に大別。

・ コース科目 (Campus Life p. 211-)

各コースに特有の、専門性の高い科目。

[化学系]、[生物科学系]、[環境科学系] に大別。

※ 他学科 (数物科学科) 開講科目や他コース開講科目も受講は可能です。

しかし、次のスライドにも注意！

専門教育科目履修上の注意

- ・ 「必修科目」「選択必修科目」等の単位修得条件は、
コースごとに定められています。詳しくは part 2 にて。

(Campus Life p. 204 理学部規程 別表II-3 参照)

- ・ その条件を満たすことに注意すれば、
他の科目は原則として自由に履修できます。

ただし...

- ・ 各コースで標準的に履修することが想定される科目は、
各コースの「選択科目」(○印)に指定されています。
もちろん、それ以外の科目も履修して構いません。が。。。。
- ・ 他コースの「実習科目」、「講義+実習科目」などには、
受講制限 (人数や履修履歴に関して) がかかる場合があります。
事前に開講コースの教務担当に相談してください。

- それぞれの授業科目の概要は
web上で公開されている「開講科目概要」で確認できます。
- 各科目のより詳しい内容はやはりweb上で公開されている
「Webシラバス」で見ることができます。

※シラバスとは「授業の概要」という意味です。

※Webシラバスの使い方は全学教育ガイドp.18に掲載されています。

シラバスには、授業の概要のほか、学習目標、授業計画、教科書、成績評価の基準、注意事項など様々な重要情報が記載されています。

授業にあたっての、教員と学生の間「契約書」のようなものです。

- 履修する際は必ず、開講科目概要だけではなく

Webシラバスで科目の内容を確認してください。

- ・ 全学教育科目、理学部専門教育科目の時間割は
「全学教育ガイド」(p. 237-)
「専門教育ガイド」(p. 202-)
にそれぞれ掲載されています。

・ 同一時間帯に開講される複数の科目を同時に受講登録することはできません。特に集中形式の講義・実習などを受講する際は注意してください。

※ 2・3回生の時間割もよく見て、履修計画立案の参考にしてください。

3. 教務関係 (4) 履修計画を立てるうえでの注意 —履修登録の上限について—

- ・ 一年間に履修登録できる科目は44単位まで。

※ 「むやみにたくさんの授業をとっても、きちんと自習する時間が確保できず、実質的な教育の質を保証できない」ということで、履修科目数の上限が決められています。

※ 年間を通じて44単位ですので、前期・後期のバランスにも配慮して履修計画を立ててください。

ただし・・・

- ・ キャリア教育科目など「卒業要件外」の科目や、各コースで定める「例外科目」は、この制限の対象外です。
- ・ 決められた期間内に「履修取り消し」を行った科目については、履修登録しなかったものとみなされます。（今年度前期の履修登録の取消・修正期間は5/14-27）
- ・ 次に述べる「成績優秀者」「上限緩和者」など優秀な学業成績を収めた学生は履修登録科目の上限が引き上げられます。

※ 年間の卒業要件単位取得数の目安（下限）はおおよそ38単位です。卒業に必要な単位数は124ですが、4年次は概ね卒業研究10単位の取得に専念します。従って、 $(124-10) \div 3 = 38$ 単位/年。

3. 教務関係 (5) 成績優秀者・早期卒業について

- ・各コースで、「成績優秀者」あるいは「履修上限緩和者」の認定基準が定められています。

part 2 で説明

豆知識 成績評価について (全学教育ガイド p. 27)

• 成績は、基本的に**100点満点の点数評価**です。

• **個々の科目の成績**については、点数とともに

90 - 100点は S (「秀」 に相当)

80 - 89点は A (「優」 に相当)

70 - 79点は B (「良」 に相当)

60 - 69点は C (「可」 に相当)

59点以下は F (「不可」 に相当) と表示されます。

• ある学期、あるいは在学期間全体の成績を一つの数値で表すための指標として、

GPA (Grade Point Average, グレード・ポイント・アベレージ) があります。

※ 本学では科目の素点に基づき、下のような計算式により算出しています。

$$\left[\frac{\{\text{(あるGPA算出対象科目の点数-50)} \div 10\} \times \text{その科目の単位数}}{\text{単位数の総和}} \right]$$
 の総和

単位数の総和

※ 全ての科目が100点であればGPAは5.0, 80点であれば3.0, 60点であれば1.0になります。

3. 教務関係 (6) 卒業に向けての進路変更 — 転コースについて —

- 化学生物環境学科には、三つのコースがあります。

所属コースは入学時点で決まっていますが、

2, 3, 4回生への進級時に他コースへの所属変更の機

会 があります（転コース）。

- 転コースに必要な条件（専門教育ガイド p.125）

化学コース	生物科学コース	環境科学コース
受入後の学生数 各学年42名まで	受入後の学生数 各学年42名まで	受入後の学生数 各学年35名まで
受入上限数を超える希望があった場合、理学部専門教育科目の点数の平均点上位の者から順に受入		
<ul style="list-style-type: none"> 「化学生物環境学入門」 「化学基礎実験1」 「化学キャリアセミナーI-IV以外の 選択必修科目」から3科目6単位以 上[*] 2回生進級時の条件を示す。化学 	<ul style="list-style-type: none"> 「化学生物環境学入門」 「基礎細胞生物学」 「生物多様性学」 	<ul style="list-style-type: none"> 「化学生物環境学入門」 「環境科学基礎プログラミング」 「環境科学基礎プログラミング演 習」
化学コースに関しては3回生進級時の転コース条件はこれとは異なるので注意。		

- ・ 転コースを考えるうえでの注意：

人数制限などの関係で、

希望通りに転コースできるとは限りません。

- ・ 転コースを前提とする履修計画を立てることはせず、
所属コースで卒業することも考えた履修計画を
立てるようにしてください。

※ 化学生物環境学科では、

転コースしなくとも、他コース科目を履修することはかなり自由にできます。

この特徴を存分に活用して、自分に必要な知識・技能を習得してください。

3. 教務関係 (7) キャリア教育科目について

- ・ **キャリア教育科目**は、
卒業後の将来設計に備えたり（キャリアプラン科目群）、
教員免許状を取得するため（教職科目群）、
あるいは
学校図書館司書教諭・学芸員の資格を取得するため
（資格関連科目群）のカリキュラムに対応する科目です。

卒業要件124単位には含まれません。

※ キャリアプラン科目群中、「現代社会と職業」のみ、例外的に
教養教育科目・教養科目群の履修単位として認められます。

- ・ 詳細については、
全学教育ガイド p. 115～ を参照してください。

3. 教務関係 (7) キャリア教育科目について -1. キャリアプラン科目群-

- ・ **キャリアプラン科目群**は、大きく3つに分けられます。

(全学教育ガイド p.115)

(1) 1/2年次に履修する「現代社会と職業」

- ※ キャリア教育科目としては例外的に
教養教育科目・**教養科目群の履修単位として認められます。**

(2) 1～3年次に履修する「専門職論」

- ※ 学部別に開講されますが、他学部の授業も履修可です。
卒業生を含め各分野で活躍している方々のはなしを聞き、
専門職やスペシャリストへの進路について考えます。**受講を推奨。**

(3) 随時履修する「キャリアデザイン・ゼミナール」

- ※ 色々な科目があります(全学教育ガイドp.116, 配布プリント「令和2年度
キャリアデザインゼミナール一覧」)。

A(スキル系)、B(体験・実践系)、C(現代・総合系)に大別されます。

- ※ その他、随時履修する「インターンシップ」もあります。

- ※ 様々な職業の現場でインターン(実習生)としてはたらく経験を通じて、働くことの意味を考え、キャリアプラン実現の手がかりとします。一部は全学共通科目、一部は学部専門教育科目です。

(全学教育ガイドp.117参照)。

3. 教務関係 (7) キャリア教育科目について —2. 教職科目群—

・ 本学で取得できる**教職免許状の種類**や**取得条件**は、**全学教育ガイド p. 191**（表VI-2-2）に記載されています。

※ 小学校／幼稚園教諭の免許状は取得できません。

※ 次に説明する「学芸員」と「教職免許」、
両方の資格を取得することも極めて困難です。

・ **教職課程の履修の流れ**は、**全学教育ガイドp. 121**
に掲載されています。

全学教育ガイドp. 126
表VI-1-1

1年次：外国語、健康運動実習、**必要な教養教育科目**、教科科目、**教職論**etc.

2年次：教職科目の本格的履修開始。教育原理、教科教育法などを優先。

3年次：教職科目、教科科目の履修。教育実習Ⅱ（中・小・幼）履修登録、介護等体験。

4年次： 教育実習Ⅰ、事前・事後指導、教職実践演習。

学外での実習・体験等にあたっては特に、登録やオリエンテーションへの参加を確実に行うようにしてください

3. 教務関係 (7) キャリア教育科目について —2. 教職科目群 (続き) —

・一部の教職科目については、専門教育科目の時間割との関係で、特定の回生でないと受講困難な場合もあります。

4年間を見通した履修計画を立ててください。

- ・ 教職科目群の履修・教員免許状取得については、
全学教育ガイドp.119～をよく読んで
履修計画を立ててください。

新入生教職ガイダンス： 4月8日（水） 16:00～17:30
S235教室にて。

全学教育ガイド持参のこと。

教職履修相談日： 4月13日（月）、4月14日（火）
12:00～13:00および16:00～17:00
学務課学務係にて。

地学関連の講義科目の受講について

part 2 で説明

- ・ **学芸員**の資格取得については、

全学教育ガイドp.173～に記載されています。

- ※学芸員とは、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他を行う、博物館におかれる専門的職員です。
- ※教職免許取得条件を満たすためにもそうですが、学芸員資格を得るためには博物館実習など多くの条件をクリアする必要があり、多大な時間と労力を必要とします。
- ※そのため、**本学では教員免許状と学芸員資格の両方を取得することを保証できません。**

- ・ **学校図書館司書教諭**の資格取得については、

全学教育ガイドp. 177 に記載されています。

- ※学校図書館司書教諭とは、「学校図書館で専門的職務に従事する教諭」を指します。公立図書館等の図書館司書とは異なります。
- ※教員免許状の取得が前提です。5科目10単位の修得（+講習受講）が必要です。
 - ・ その他の資格（全学教育ガイド p. 178）は、主として文学部や生活環境学部の学生向けです。

学芸員の資格を希望する学生

4/10 (金) 16:30-17:10 N202

学芸員新入生ガイダンス

全学教育ガイドを持参してください

3. 教務関係 (8) 単位互換制度について

- 単位互換制度とは、他大学の科目を履修し、所属大学の卒業要件単位として認定する制度です。本学では、以下の二種類が該当します。

1. 放送大学教育協力型単位互換科目 (全学教育ガイドp.97～)

※9科目が特定の曜日・時限で開講。DVD上映による授業。

※受講には、放送大学への特別聴講生の出願も必要。

※年間の履修登録単位数の上限(44単位)には含まれません。

※卒業要件単位124単位に含められます。(「自由選択科目」扱い)

※前期開講科目を履修希望の場合は、4月9日17時までに
出願票を学務課に。

2. 奈良県大学連合における単位互換 (全学教育ガイドp.103～)

※県内7大学間の協定に基づく。2回生以上対象。

※他大学で開講される授業科目を年間4科目8単位まで履修可能。

※修得した単位は、卒業要件単位に算入されます。(ただし、自由選択単位)

※資料は学務課の「単位互換資料コーナー」に。

3. 教務関係 (9) 新入生履修支援制度について

- ・ 新入生履修支援「**ポータルガイド**」 (入口案内)

先輩学生が、履修に関する悩みの相談に乗ってくれます

日時： 4月9日 (木) ~4月13日 (月)

昼休み 12:20~12:50

夕方 16:20~16:50

場所： **大学会館2階**、旧喫茶スペース
(正面の階段上がってすぐ左手)

- ※どの日時にも、自分のコースの**先輩が居るはず**です。
自分のコースの**先輩に相談**することを推奨します。
- ※ **不明の点があれば、各コースの担当教員まで。**
(入学式で配布された資料も参照)

以下の科目について、

受講希望の調査（予備登録）を行います。

B棟玄関正面の学科共通掲示板に調査票（名簿）を掲示。

受講希望学生は、10日（金）17:00までに必要事項を記入。教職免許に必要な科目が含まれることに注意。

前期開講科目

生物環境科学基礎演習I

環境科学基礎プログラミング演習、 地学実験IC

森林・河川・海洋生物学野外実習

※森林と河川の野外実習は、

卒業までに1つは単位履修することが推奨されている「地域志向科目」です。

後期開講科目

生物環境科学基礎演習II

地学実験IB

生物環境科学基礎演習Ⅲの受講について

実習と演習を一体化した科目です。

受講希望者は4月10日17:00までに予備登録

生物科学コース掲示板での掲示に注意

生物環境科学基礎演習Ⅲの受講について

森林生物学野外実習、河川生物学野外実習、 海洋生物学野外実習の受講について

- ・ いずれも夏季休業期間中に実施される野外実習です。
 - ・ 3科目中、一つだけを選択して受講することができます。
 - ・ 各実習で受け入れ可能な人数は、20名程度です。
 - ・ 受講希望者は4月10日17:00までに予備登録して下さい。
 - ・ 3実習合同のガイダンス／人数調整
- 生物科学コース掲示板に注意

地学実験IB, 地学実験ICの受講について

- ・ 中学理科の教員免許取得のためには、いずれかの実験を受講する必要があります。
- ・ 地学実験ICは前期、地学実験IBは後期開講です。
- ・ 受講希望者は4月10日17:00までに予備登録して下さい。
- ・ 受講希望者が少人数の場合、地学実験ICは開講せず、後期開講の地学実験IBにまとめる可能性があります。

英語の履修

- 原則予備登録不要
- センター試験成績でクラス分け
- 私費外国人等は TOEIC, TOEFLE の成績を
4/10(金)17時までに学務課提出

- 4/14 掲示予定の受講者名簿と「全学教育ガイド」p81のクラス分けに従って「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」,
「プラクティカル・イングリッシュ」を履修登録

- 履修相談日：4/10(金)16:30-18:00 S212
- 「授業準備期間」全クラス共通の自習。
キャンパスメイトのポータルにガイダンス資料として掲示。

- 英検やTOEIC等外部試験結果で1回生用英語科目の単位認定を受け、2回生用英語科目を履修する場合は予備登録票を 4/10(金)17時までに学務課前レポートBOXに提出

ドイツ語

- 「ドイツ語IA」, 「ドイツ語IB」履修希望者は事前登録票を 4/9(木) 17時までに学務課レポートBOX へ提出
- 4/10(金)正午までに学術情報センター前掲示板に指定クラス掲示. Campusmate で履修登録すること.

「急いでやること」の確認

- **放送大学単位互換科目**（前期）履修のための「出願票」提出：
4/9 17:00 までに学務課
- 「**ドイツ語IA, IB**」の履修予備登録：4/9(木) 17:00までに学務課前レポートBOX。
- 「**英語**」の履修予備登録：4/10(金) 17:00までに学務課前レポートBOX。
 - ※ 1回生はTOEIC等で1単位回生向けの英語科目については単位認定され、2回生向け英語科目を履修する人のみが対象。
- 「**学科共通実習・演習科目**」の履修希望調査：
4/10（金）17:00までに
化学生物環境学科共通掲示板 調査票に記入
- **学生登録カードの記載内容**の一部（住所、電子メールアドレス等）未定のまま提出している学生は、速やかに学務課理学部係まで。⁴⁹

3. 教務関係 最後に

- ・卒業に必要な単位をそろえることも大切ですが、「**中身をどれだけ理解したかの方がもっと大切**」です。
 - ・大学生になったのですから、興味のもてる授業や教科書、本を見つけて、**自分で学ぶ習慣**をぜひ身につけてください。
 - ・大学の役割は「**知の継承、知の再生産、知の創造**」です。
- これからは、皆さん一人ひとりも大学の一員です。**知的活動の担い手**としての自覚をもって、大学生活を大いに楽しんでください。

ガイダンス資料入手方法について

環境科学コースの掲示板に

**ガイダンス時に投影した資料の
プリントアウトを掲示しておき
ます。必要に応じて参照してく
ださい。**

5. 今後の予定

すでにだいぶお疲れのこととは思いますが。。

この後

11:10～、G201（環境科学コース ガイダンス）

引き続きここで行います。このまま待機してください。